



香川県西部に位置する三豊市は、人口約5.8万人、面積約222km²で、県内2番目の広さを誇ります。平成18年に7つの町が合併して誕生しました。北は瀬戸内海に面し、南東部は讃岐山脈を境に徳島県と接しています。荘内半島や美しい砂浜の海岸線、島々があり、市中央部には田園地帯の三豊平野が広がります。ため池の水面が空を映す風景は、讃岐ならではの魅力です。



三豊市TOPICS

- ★平成27年に新たに女性部が発足しました！
- ★基本団員業務補完のため令和4年4月から機能別団員制度を導入しました。

団員 interview



【三野方面隊】
岩田 吉史さん



■消防団としてどのような活動をしていますか？

消防団としての活動は多岐にわたりますが、特に記憶にあるのは、平成16年の粟島での林野火災です。日曜の早朝にヘリで現場に向かって、朝8時前から5～6時間以上、地元の隊員と協力して山を登りながら消火活動を続けました。下から水を送る人、ホースを持ち上げる人、最先端で消火にあたる人など、全隊員が役割を全うし、鎮火できたのを覚えています。

■消防団活動の魅力は何ですか？

自分が活動をして良かったと感じているのは、仲間ができたことです。以前、操法大会に出場していた時、大会前に70日間ほど練習を行っていたのですが、その間に団員同士の絆も深まりました。今は手伝いで大会に参加していますが、その頃の仲間はもちろん、最近は若手の知り合いも増えました。年齢や職業関係なく、たくさんの人を関わることがとても魅力的だと思います。

■消防団への入団を考えている人にアドバイスをください！

消防団と聞くと厳しそうなおイメージを持たれるかもしれませんが、実際にはそんなことはありません。もちろん訓練や現場での活動は大変ですが、和気あいあいとした雰囲気のおかげで、メリハリのある活動ができると思います。消防団の活動で大切なのは、適材適所で役割を果たすことです。自分がその場所のできるかを考え、行動することが、町の安全を守ることに繋がるので、あまり考え込みすぎず、気軽に参加してみてください。

消防団の活動状況



災害時の活動

常備消防と連携した火災発生時の初期消火、残火処理、風水害時の災害防除活動、危険箇所のパトロールなどを実施します。



出初式

毎年1月、1年の始まりに全団員が一堂に会し、士気の高揚を図ることを目的として実施します。



各種訓練

消防・防災に関する知識や技術を習得するための訓練や応急手当の普及指導などを行っています。